

一期一会

三木東中学校 学校通信

2026年度 NO.1

4月8日(水)発行

進級、入学 おめでとうございます

三木東中学校のみなさん、進級、入学おめでとうございます。

今日から令和8年度が始まります。4月は、新しい出会いがあり、心機一転して様々なことをスタートする月です。今年はこんなことに挑戦してみよう、これまでやってきたことを更にレベルアップしようなど、様々な想いを抱いていると思います。でも、これといった目標が定まらない人もいるかもしれません。そんなことを考えたときに、学校通信のタイトルが浮かびました。



「一期一会(いちごいちえ)」は、よく聞く言葉であると思います。もともとは茶道に由来する言葉で、一生に一度限りの出会いや機会を大切にするという意味です。そこから、毎日出会う人でも、その時、その瞬間はその時だけのもので、同じときは二度とこない。だからこそ、お互いに誠意を尽くすこと、日常の出会いにも感謝と思いやりを持つことが大切だという意味で使われています。

私は、この意味に加え、三木東中学校での授業や部活動など、日常の一瞬一瞬も同じで二度と同じときはない。まだ、目標が定まらない人も、今を大切にしたい気持ちを持ち、毎日を過ごしてほしい。それは何かを頑張る瞬間だけではないです。笑いあったり、励ましあったり、時にはゆっくりと好きなことをしたり。そんな瞬間の積み重ねが、大人への成長につながっていくのだと思います。

今を大切にすること、色んな今をつくること、そしてその中での人との出会いやつながりを大切にすること。そんな成長していく日々を支えられるよう、三木東中学校の先生方も全力で取り組んでいきます。素晴らしい一年にしていきたいと思います。

《保護者・地域の皆様へ》

本年度、三木中学校から三木東中学校へ赴任してきました小林 俊治と申します。私が当時マンモス校であった三木中学校卒業してすぐに、この三木東中学校が開校しました。今年で開校から38年を迎え、多くの卒業生を輩出し、歴史も積み重ねてきた学校に赴任したことに嬉しく思います。この学校の校訓は「自主・協同・創造」です。生徒が教職員とともに自主的に活動し、協同して学びを深め、そしてまた新しい学校を創造していけるよう努めてまいります。保護者、地域の皆様には、今後ともご協力ご支援いただきますようお願いいたします。

学校長 小林 俊治